

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年6月18日

【2018年6月9日～2018年6月15日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円では上昇した一方、対米ドルでは下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。米国やユーロ圏などの金融政策に注目が集まる中、週前半のブラジル・レアルやブラジル金利は小動きとなりました。その後、ECB(欧州中央銀行)理事会をきっかけにブラジル・レアルは対円、米ドルで下落するとともに、ブラジルの金利は上昇しました。

経済指標では、13日(現地、以下同様)に4月の小売売上高が発表されました。市場予想を上回り、堅調な消費が確認されています。また、15日に公表された同月の経済活動指数は市場予想こそ下回ったものの、底堅い推移となっています。

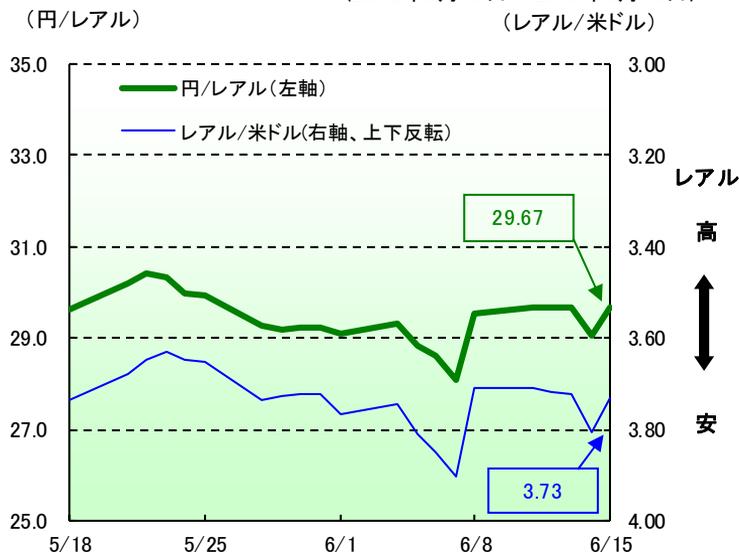
大統領選に関しては、ブラジルの調査会社データフォリア(Datafolha)から最新の世論調査が公表されています。極右のポウソナロ氏がリードしている状況には依然変わりはなく、マリナ・シルバ氏らがそれを追う状況となっています。

### 【2】今週の見通し

今週は、20日から21日にかけて開催されるCOPOM(金融政策委員会)に注目が集まります。他の新興国では利上げに踏み切る国も見受けられますが、今回の会合ではブラジルの政策金利は据え置かれると予想されています。足元の新興国からの資金流出懸念に対して、ブラジル中央銀行は再三為替介入を実施しブラジル・レアル防衛の姿勢をみせています。ブラジル中央銀行はこの通貨防衛の姿勢を維持しつつ、今後のインフレ率の動向を注視するものとみられます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年5月18日～2018年6月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年5月18日～2018年6月15日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>